

## 浜岡原子力発電所4号機 MOX燃料受取検査の再開について

平成 21 年 9 月 7 日

平成21年8月11日に発生した駿河湾の地震により中断していた、4号機のMOX燃料受取検査を本日より再開しました。

今後、検査が未了であった9体のMOX燃料について、受取検査(※1)を行います。

また、既に受取検査を完了し、現在、4号機の燃料プールに保管中のMOX燃料19体については、再度外観確認を行います。

なお、国の輸入燃料体検査(※2)は、全てのMOX燃料について、受取検査等により外観・形状に異状のないことを確認したうえで受検します。

(参考) 受取検査および輸入燃料体検査のスケジュール

■ :実績 □ :予定

	7月	8月	9月	10月
受取検査のための作業 (輸送容器の移動および 開放作業)	■	■		
受取検査	■ (4体)	■ (12体)	■ (3体)	■ (中断)
輸入燃料体検査			■ (受取検査9体)	■ (+外観確認19体)

□ : 輸入燃料体検査  
日程未定 (外観検査)

### 【これまでにお知らせした内容】

当社は、平成21年5月18日、4号機用のMOX燃料28体を浜岡原子力発電所に受け入れました。  
(平成21年5月18日、平成21年5月27日公表済み)

7月17日より同検査のための作業を開始しました。(平成21年7月17日公表済み)

1基目と2基目の輸送容器に収納されていたMOX燃料16体の検査を実施し、全ての外観・形状に異状のないことを確認しました。

なお、2基目の輸送容器に収納されていたMOX燃料12体の検査を実施していたところ、その内の2体に、金属セパレータ(※3)の位置ずれを確認しました。今後、MOX燃料に与える影響評価および原因調査を行います。  
(平成21年8月5日公表済み)

当初、当社の行う受取検査の最終段階で国の輸入燃料体検査を受検する予定でしたが、金属セパレータの位置ずれ事象を踏まえ、全てのMOX燃料について受取検査により外観・形状に異状のないことを確認したうえで、輸入燃料体検査を受検することとしました。  
(平成21年8月7日公表済み)

平成21年8月11日に発生した駿河湾の地震により、MOX燃料受取検査を中断しました。

これまでに輸送容器2基分16体と3基目の12体中3体の受取検査を行い、それら19体のMOX燃料は、燃料プールで適切に保管しています。残り9体のMOX燃料は輸送容器内に保管しており、今後、受取検査により健全性を確認します。  
(平成21年8月11日公表済み)

※1 受取検査は、当社が、社内の調達ルールに基づき、輸送に伴いMOX燃料に変形等がないことを外観検査等により確認します。

※2 輸入燃料体検査は、電気事業法第51条第3項に基づく検査であり、国により、当社の品質保証活動等に対する書類審査、燃料の外観検査等が行われます。なお、外観検査では、MOX燃料の録画映像の確認、および、燃料プールに保管中の一部のMOX燃料について外観確認することで、全てのMOX燃料について検査が行われます。

※3 金属セパレータは、輸送中における燃料集合体の燃料棒どうしの間隔を保持する目的で装着しているものであり、受取検査に先立ち、燃料集合体から外します。

以上